

にいつつどうまつり  
**にいつ鉄道まつり** [MAP.P17 D-4]

毎回大人気のミニSLやステージイベント、鉄道模型クラブ合同運転会のほか、豪華賞品が当たるスタンプラリーや「超難関!鉄道ウルトラクイズ」、C57パーパークラフト塗り絵コーナーなど、鉄道の街が一体になり盛り上がる。JR新津駅東口広場が会場。普段見られない電車の製造工程も公開。2016年は10月8日④に開催予定。

新津観光協会 ☎0250-24-3777



ミニSLも運行!  
 子どもたちに大人気



ユニークな企画展に注目!!

にいがたしにいつびじゅつかん  
**新潟市新津美術館** [MAP.P17 D-4]

新津丘陵の「花と遺跡のふるさと公園」内にある美術館。絵画や写真、絵本原画などの企画展を年5～6回開催している。ミュージアムショップにはアートファンの心をくすぐるグッズも豊富。また、鑑賞者のために無料託児も受け付けている。  
 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1 ☎0250-25-1300  
 10:00～17:00(鑑賞券販売は16:30まで)  
 月曜定休(祝日の場合は翌日休み)、展示替えに伴う臨時休館あり



にいつつどうしりょうかん  
**新津鉄道資料館** [MAP.P17 D-4]

鉄道の街である新潟・新津の鉄道文化を物語るさまざまな資料を保存・公開。1階はトレインシミュレーターも設置された常設展示室、2階は企画展示室やパノラマ展示室、多目的スペースからなる。実車や信号機などを展示公開している屋外展示コーナーも必見だ。

新潟市秋葉区新津東町2-5-6 ☎0250-24-5700  
 9:30～17:00(入館は16:30まで) 火曜定休(祝日の場合は翌日休み)  
 入館料大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円  
 (土・日曜、祝日は中学生以下無料)

秋葉区民にはおなじみのお菓子屋さんです!!



おかしつかさ はにゅう  
**御菓子司 羽入**  
 [MAP.P17 D-4]

大正5年から名物「三色だんご」を作り続ける老舗。花の街として有名な新津らしい「かきのもと饅頭」も評判。あんこに練りこまれた食用菊のシャキシャキ感がアクセントに。小豆のほのかな甘みと菊の香りと苦味が絶妙に合わさった新趣向のお菓子だ。  
 新潟市秋葉区新津本町1-6-30 ☎0250-22-0462  
 9:00～18:00 日曜定休

なかのていびじゅつかん  
**中野邸美術館**  
 [MAP.P17 D-4]

石油王中野賢一、忠太郎の親子二代が築造した邸宅と庭園に、両名が収集した美術品を展示。庭園はもみじを中心に全国の銘木や名石が集められ、四季折々の表情が楽しめる。



新潟市秋葉区金津598 ☎0250-25-1000  
 4月～7月(美術館9:30～16:30、もみじ園9:30～16:00)  
 9月～11月(美術館9:00～17:00、もみじ園9:00～16:30)  
 (入館・入園はともに閉館の30分前まで)  
 水曜定休(状況により変更あり)、8月休館  
 大人700円、高校生以下無料

精巧な鉄道模型に大人もワクワク!

全国から鉄ちゃんたちが大集合!



手みやげにもいいですよ!



ポケの実もおいしくて知ってました?



小須戸はポケの生産日本一!!  
**うららこすど**  
 [MAP.P18 D-4]

野菜直売所には地元農家が生産した新鮮な野菜を中心に、地場食材を使った加工品も並ぶ。敷地内にある花木直売所と国内有数の規模を誇るポケ公園では四季折々の花木の楽しみ方も紹介。農業体験や食の体験教室も開催している。



新潟市秋葉区小須戸893-1 ☎0250-38-5430  
 9:00～17:30 無休



珍しい植物を間近で観られます



にいがたけんりつしよくぶつえん  
**新潟県立植物園** [MAP.P17 D-4]

広大な敷地にツバキやサクラ、ボタン、ツツジなどが植栽され、四季折々のさまざまな草花が観賞できる植物園。観賞温室は3つ。国内最大級の熱帯植物ドームでは、約550種・4,000株もの熱帯植物を観ることが出来る。

新潟市秋葉区金津186 ☎0250-24-6465  
 観賞温室開館時間9:30～16:30(入館は16:00まで)  
 月曜定休(祝日の場合は翌日休み)  
 入館料大人600円、小中学生100円(小中学生は土・日曜、祝日は無料)

彩りの鮮やかな季節の花がいっぱい



趣のある町屋が並ぶ通りは雰囲気満点



みちのえき かむりにいつ  
**道の駅 花夢里にいつ** [MAP.P18 D-4]

花夢里にいつは道の駅でありながら、広々としたガラス温室に約4万鉢の花々が並び、まるで植物園にいるような感覚も味わえる。また、農産物直売所では地元の農家が作った野菜を購入することができる。のんびりと好みの花や新鮮な野菜を探しに出かけてみよう。

新潟市秋葉区川根438 ☎0250-21-6633  
 9:00～17:00 無休



知る人ぞ知る、オシャレイベント!

あきはこなつ  
**秋葉小夏** [MAP.P17 D-4]

秋葉区にいつ里山丘陵で行われる口ハスをテーマにしたイベント。バラエティ豊かな顔ぶれの物販や飲食ブースの出店のほか、映画上映や体験プログラムも実施。2016年は10月1日④、2日⑤に開催予定。

秋葉小夏実行委員会 ☎0250-25-3939



道の町家のつるしびながキレる!

こすどのまちやめぐり  
**小須戸の町屋巡り**  
 [MAP.P18 D-4]

江戸から昭和初期まで、長岡と新潟をつなぐ舟運の川港としても発展してきた小須戸。商店街の通りには古い町屋が数多く残る。点在するカフェや菓子屋などを覗きながら、のんびりとまちあるきを楽しんでみて。

花と緑に囲まれた秋葉区エリア。新津は鉄道の街としても有名だ。目抜き通りを「にいつ0番線商店街」と名付け、鉄道にちなみ町を盛り上げるさまざまな試みを実施している。その中心人物の一人が、老舗呉服店の村木政寛さん。「商店街のお店のショーウィンドウには、店主のコレクションや鉄道関係者の方から寄贈された貴重な資料が展示されています。踏切のモニュメントがあったり、商店街あるきも楽しいですよ」と語る。出会いを楽しみまちあるきもおすすすめだ。

ナビゲーターはわたし!



むらき呉服店 村木政寛さん

いいトコ再発見  
 4  
 ENJOY!  
**秋葉区 花と文化にまつり編**

季節の花が咲き誇り、爽やかな風が吹き抜ける新津丘陵「花と遺跡のふるさと公園」を中心に自然豊かなロケーションやスポットめぐりが楽しめます。文化施設も充実し、のんびりと過ごすことができます。